

音楽サービス
創造学科の

学生取材レポート

AP・舞台実務

音楽サービス創造学科では、AP（アートプロデュース）や舞台実務の学びがあります。舞台の国家技能検定資格も目指すことができ、インターン実習などで多くの現場経験を積むこともできます。

学生広報委員



白木

吉田

加藤



AP(アートプロデュース)

APの授業では、音響やステージの機構・仕組みなど、舞台に関することを学びます。天井から物を吊す時の結び方などの基礎知識から学び、インターン実習などを通して、舞台機構や機材、用具などのイベント運営業務のノウハウを身につけていきます。

インターン実習



学生の声



1年生 Y.K.くん

舞台実務

舞台実務では、さまざまな機器の取り扱いについて学び、正しい知識と技術を身につけ、PA講習などで基礎を身につけていきます。劇場やコンサート会場、ライブハウスなどの舞台機構を調整する国家技能検定「舞台機構調整技能士」の資格取得も目指せます。

舞台上で使うマイクや音響機材の使い方、舞台機構や幕などの知識を学んでいます！将来、楽器店とライブハウスを併設した店舗を経営したいと考えているので、とてもワクワクしながら授業を受けています！



学生の声



2年生 S.N.さん

私は、大規模な音楽フェス「FREEDAM NAGOYA」のインターン実習に参加しました。舞台機材のセッティングや運搬、お客様の誘導などの経験を積めました。現場の雰囲気や組織運営の醍醐味、役割理解など、貴重な体験ができました。

まとめ

楽器の仕事というと楽器リペアや楽器販売といったものをイメージしやすいですが、楽器の知識・技術をベースに音響やホールの運営といった舞台関連の仕事も幅広くあります。あなたが「本当にやりたい！」という仕事が見つかるかも！

学生の声



2年生 A.I.さん

基礎知識を学び、楽器へのマイキングや音響卓を使って音量バランスの調整、トラックチェンジなどの練習を繰り返し、技術を定着させていきます！また、企画から運営までのシュミレーションも練習していきます！

音楽サービス
創造学科の

合奏・アンサンブル

例えば、楽器店に就職して接客する際、コミュニケーションを図り、お客さまの要望に応じていくことは大切です。音楽サービス創造学科では、演奏を通して、演奏する楽しさをどのように伝えるか学びます。そして、さまざまな楽器演奏を経験し、音楽の知識や楽器の構造・仕組みを学び、音楽教室の運営や楽器購入時のアドバイスなどに活かしていきます。

前期

写真①



写真②



合奏の授業（写真①）です。自分が挑戦したいと思う楽器で、4月からハーモニーづくりをしていきます。曲の雰囲気を感じながら、楽しむことも忘れません。そして、楽典（写真②）で、コード進行や楽譜の読み方などを学び、演奏の質を高めていきます。

学生の声

2年生 T.F.<くん

吹奏楽未経験者でも大丈夫！パートリーダーが中心となってアドバイスやフォローをしてくれました。そのため、楽しく演奏ができました。先生方や学生を招いての校内発表会もあり、みんなで演奏の楽しさを共有できただけでなく、演奏技術が磨かれたところも魅せることができました。

後期



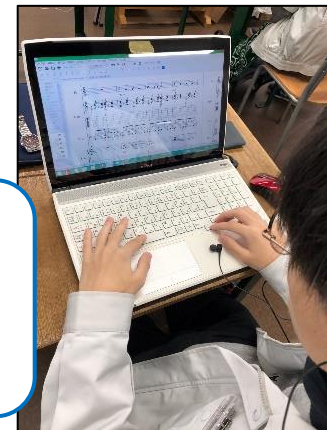
後期では、アンサンブルの授業に取り組んでいます。バンドや管楽器編成、教育楽器など様々な組み合わせや楽器で練習しています。

学生の声



1年生 Y.N.<くん

前期、楽典で学んだコード進行や楽譜の読み方、シンコペーションなどを活かし、アンサンブルをしています。



PCを使った編曲の作業の様子

まとめ

音楽サービス創造学科の学生は、吹奏楽出身や軽音楽出身、楽器未経験などさまざまです。みんなで教えあいながら、多種多様な楽器にチャレンジでき、就職後に役立つ知識や技術を身につけていきます。

学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）

中部楽器技術専門学校
CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS



0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

〒466-0027 名古屋市長和区阿由知通3-13-6

URL:www.chubugakki.ac.jp

